

人頭税に苦しみながら年貢を完納し、琉球国王に拜謁（はいえつ）する機会を得た喜びを表現する踊り「ジッチュ」を披露する女性たち＝25日、竹富町竹富島の世持御嶽前広場



伝統芸能 島華やぐ 竹富・種子取祭

【竹富島＝竹富】国の重要無形民俗文化財に指定されている竹富島最大の祭り「種子取祭」の奉納芸能が25日、同島の世持御嶽で始まった。庭の芸能と舞台芸能約70演目が26日までの2日間、繰り広げられる。多くの島民や観光客が訪れ、600年以上受け継がれている伝統芸能を堪能した。

種子取祭は、まいた種が無事に育つことを祈願する農耕行事で、旧暦9、10月に巡ってくる甲申（トウルツキ）を初日に、神事や奉納芸能を10日間に行う。奉納芸能は祭りのクライマックスで、島民や島出身者が総出で催す。

祭りは午前9時半ごろから御嶽前の広場で始まり、棒術や太鼓、舞踊を披露。同10時半ごろからは舞台で狂言や踊りを神前に奉納した。

